



HEY! 輪っしょいニュース

【発行】60周年記念2008年日本のうたごえ祭典in東京I実行委員会・広報宣伝
【事務所】〒169-0072 新宿区大久保2-16-36 東京のうたごえ協議会内電話 03-3200-4977
ホームページ http://utago60.main.jp/メール utago60@ky.main.jp

奈良のみなさんありがとう！

第2回「in東京祭典実行委員会」、113名の参加で心を結びました！

会議冒頭、会場の地元、東京東部地域の仲間たちの手話・ダンス



うたごえ新聞 提供

ダンスあり
地元東部の心暖かい準備
落語あり



うたごえ新聞 提供

第2回実行委員会開催

60周年記念
2008年日本のうたごえ祭典in東京

12月1日(土) 東京東部の曳舟文化センターで第2回の「60周年記念2008年日本のうたごえ祭典in東京実行委員会」が開催されました。

ここには一週間前に奈良祭典を大成功させた、奈良祭典運営委員長の上殿紀久子さんも駆けつけて、連帯と奈良祭典協力のお礼の言葉を戴きました。

さらに日本のうたごえ全国協議会会長高橋正志会長、小沢久事務局長、三輪純永うたごえ新聞編集長、千葉、神奈川からも代表参加していただき、前回の第1回実行委員会の参加者100名を上回る44団体113名の参加で意見交流を行うことが出来ました。

「60周年記念2008年日本のうたごえ祭典in東京」の基調

次のような「うたごえ祭典」をめざします。

今こそ、平和憲法を守り輝かせる祭典。
都民の誰もが人間らしく生き働くことのできる「東京」をつくるエネルギーを結集し、東京を平和・文化の発信地にしていく祭典。
人と人をつなぎ、心のふれあいと共感を歌で生み出す祭典。
都民・国民の願いを歌い上げるとともに、伝統や芸能、諸外国の自由・平和・平等を願う音楽で豊かに交流する祭典。
うたごえ運動60周年の蓄積を示し、未来に向けて「うたごえは平和の力」の心を世界に伝える祭典。

奈良から東京へ！

轟運営委員長の挨拶と報告

“日本のうたごえ祭典 in 奈良に参加されたみなさん、お疲れさまでした。大音楽会で要員をされたみなさん、合唱発表会で東京の祭典宣伝にとりくまれたみなさん、ご協力で心からお礼を申し上げます。奈良の祭典企画はほんとうに素晴らしい、「夢を広げ、着実に実現させた」、実行委員会のみなさんのご奮闘に、東京から参加したメンバーは大いに励まされました。「奈良から東京へ！」祭典大成功と仲間の輪を広げるパトンをしっかりと受け継ぎ、あゆみをすすめていきます。

- ① 実行委員登録1000人を達成し、「これからは外に広げる」スタート地点にしていきます。
- ② 祭典企画の提案を受け「この歌で広げよう！」という具体的な内容に深めましょう。
- ③ 組織・賛同金目標を確認し、「ここまで広げよう」という目標を持ちましょう。
- ④ グループの検討や楽しいアイディアの交流で盛り上がりましょう。

奈良の上殿委員長とパトントッチする轟さん



うたごえ新聞 提供

上殿奈良祭典運営委員長の「挨拶」(要旨)

数こそは力！

「要員に演奏に本当にご協力ありがとうございました。奈良では11の合唱団・サークルしかありませんでした。総数100名ほどの人数でしたので、総ての人が何らかの部署を引き受けて祭典を迎えましたが、どうしても要員は足りませんでした。50名の東京の応援で無事祭典を成功させることが出来ました。祭典成功に向けては駅頭での宣伝行動もやりましたし、義理と人情も大切に、うたごえ新聞は100部から500部に増やして祭典を迎えました。東京の実行委員会はさすがにこれだけの方々が参加して準備されている、来年の60周年祭典には奈良も是非力を出したい！」と熱く語って戴きました。

総監督

池辺晋一郎

運営委員長

轟志保子

副運営委員長

高橋正志・鈴木勝雄・島袋美恵子

事務局長

大井かつ江

事務局長

武田洋二・小沢久・森しげ子

企画委員長

杉森俊幸

企画事務局長

大熊啓

組織委員長

大田春男

組織事務局長

山田千賀子

財政委員長

(大井かつ江)

事業委員長

斉藤一正

宣伝・広報委員長

外山靖雄

うたごえ新聞拡大本部長

横川昭

運営委員(東京常任委員)

市川秀親・大塚政幸・大橋真理子

千代村直孝・鶴嘉一郎・中島修一

平井克己・藤森保・松沢千代子

真利子律子・箕輪信一・山崎慶晴

渡辺一利・渡辺咲地

関東ブロック

鳩治子

60周年委員会事務局

道田隆司・三輪純永